

2025 年度 長岡大学シラバス

授業科目名	山川智子ゼミナールⅢ (SeminarⅢ)					担当教員	山川 智子 (ヤマカワ トモコ)	
2020-23 年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	課題解決型 AL／外部講師招聘 科目
	2025-0-31-060	ゼミナール科目	必修	2 単位	3 年次	通年		
2024-25 年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	課題解決型 AL／外部講師招聘 科目
	2425-0-31-005	ゼミナール科目	必修	2 単位	3 年次	通年		

① 授業のねらい・概要								
ゼミのメインテーマは『危機管理』である。「世の中のしくみはどのようにになっているのか？ 自分たちの生活や生命を守るために必要な知識や情報は何か？」と考えを具体化する。『危機管理』では、医学・医療・福祉・防犯・防災・日常的なコミュニケーション・金銭や情報のリテラシーなど、事例の紹介やシミュレーションなどを通して、広く役に立つ実際的な問題を取り上げる。心理学・行動経済学・基礎法学・メンタルヘルスマネジメントが年間を通じての知識の土台となる。今年は特に、防犯について力を入れる。地方公務員（市役所や県警等）を希望する学生に限らず、「自分の価値を高め、現在以上に力をつけたい！」と真摯に望む学生には、現在の実力を踏まえたうえで、試験攻略のための個別指導も行う。公務員や各種の採用試験や優良企業への就職試験に合格しうる実力をつけるためにも地域の特色を把握し、地域の住民の安全を守るための社会のしくみ、特に防犯・防災を軸に、ひとのいのちを守る行動について考える。3 年生は就活のために「学生時代に力を入れたこと（ガクチカ）」を盤石にする。								
② ディプロマ・ポリシーとの関連								
地域社会に貢献する姿勢／職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力／コミュニケーション能力／情報収集・分析力								
③ 授業の進め方・指示事項								
身近なところから各地域の特性を感じ取り、社会のしくみと地域との関わりを理解する。社会情勢も踏まえ、自分や周囲の人たちの生命と安全を優先した行動を心がける。自分自身の価値を高めるにはどうすればいいか？と自問自答して最適解を求めてゆく。周囲とのコミュニケーションを大事にしたアサーティブな関係構築を目指す。思考体力をつけることと、基礎学力を盤石にすることによって、公務員試験や優良企業への就職試験にも備える。								
④ 関連科目・履修しておくべき科目								
キャリア開発Ⅲを重要視している。地域の特色を把握することや、時事問題を軸とした報告レポート・プレゼンテーションも併せて行うので、可能な範囲で関連しそうな科目の履修を勧める。								
⑤ テキスト（教科書）※授業で使用する。								
『秘書検定 3 級 クイックマスター 改訂 2 版』実務技能検定協会編 早稲田教育出版 今年度から秘書検定にもゼミ全体として取り組もうと考えている。その他、授業資料を必要に応じて配布する。								
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。								
『努力は仕組み化できる 自分も他人も「やるべきこと」が無理なく続く努力の行動経済学』山根 承子（日経 BP） 『秘書検定 3 級問題集 第 126～131 回』実務技能検定協会編（早稲田出版） 『生きのびるための事務』坂口恭平、道草晴子（マガジンハウス） 『もしもに備える！おうち備蓄と防災のアイデア帖』島本美由紀（パイインターナショナル） 『世界最高学府で教える人心操作の授業 全員“カモ”』ダニエル・シモンズ他（東洋経済新報社） 『ストレス解消法』田中 はじめ（総合法令出版） 『卒論・レポート Word 活用術』桑井康行（オーム社） 『防災気象情報等で使われる 100 の用語』饒村 曜（近代消防社） 『日本一稼ぐ弁護士の最強メンタル』福永活也（清談社 Pubilico） 『防災クエスト 家族みんなで防災ミッションを攻略しよう！』辻 直美（小学館） その他多数								
⑦ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）								
無断欠席は厳禁。ゼミの『鉄の掟』である。出席管理を厳格に行うのは出席不良による失格を未然に防ぎ、評価向上につなげる危機管理である。キャリア開発など就職に関連した科目と、当大学が推奨している資格を目指す科目には、積極的に取り組むことを勧める。自分が目指したいものを極力具体的に考えて欲しい。役割分担や課題内容を明確にして、学生の自主性をなるべく尊重したい。								
⑧ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安								
(i) 卒論を書くのに必要な文章表現の型を学び、800 字程度に意見を随時まとめられるようになる。 (ii) 自分自身の強みをより尖らせるため、戦略的な思考を身に付けて、行動計画へと落とし込む。 (iii) 地域の特色や社会情勢を把握して、卒論テーマの選択や研究調査活動のやりかたを体得する。								

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 文章表現の型と筆記力	事例を引用し 800 字程度の意見が書ける	事例を引用し 400 字程度の要約ができる	字数として 800 字程度の意見は書ける	字数として 400 字程度の要約ができる	字数としての要約等が 400 字に満たない

(ii) 戦略的思考と行動実践	状況を的確に捉えて SWOT 分析できる	ある程度の SWOT 分析ができる	要因や項目を言われたら挙げられる	要因や項目を言われた通りに書ける	説明されても要因や項目が浮かばない
(iii) 決断力と研究調査手法	迅速に決断し、前倒しで計画を進められる	決断はできるが試行錯誤に時間がかかる	決断に時間はかかるが、目標は明確である	決断に時間がかかるが、対象は見つかる	決断できず、調査対象が全く見つからない

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			15%	55%		30%	100%
(i) 文章表現の型			5%	25%		10%	40%
(ii) 戦略的思考			5%	15%		10%	30%
(iii) 研究調査方法			5%	15%		10%	30%
フィードバックの方法	提出物は確認・添削後適宜返却する。授業以外でも、個別の添削指導も要請があれば行う。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	オリエンテーション～明確化：言葉を味方にする	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
2	ゼミナール大喜利～スピード感を持って切り返す訓練	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
3	オンラインとリアル共存：IT リテラシー最適化	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
4	行動経済学の視点と実践①	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
5	サンクコストと各種バイアス	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
6	行動経済学の視点と実践②	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
7	プロスペクト理論と損失回避	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
8	心の会計と大学錬金術①	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
9	お金で泣かない大人になれ！	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
10	心の会計と大学錬金術②	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
11	クラウドファンディングの罠	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
12	地域でのリスクを考える①	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
13	街中の意外と危険な場所は？	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
14	地域の特色を知って味わう①	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
15	地元の穴場・地域の避難所	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
16	地域の特色を知って味わう②	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
17	災害は忘れた頃にやってくる	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
18	ゼミ内活動企画プレゼン①	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
19	自分のためのお楽しみ企画	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
20	ゼミ内活動企画プレゼン②	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
21	みんなで楽しめそうな企画	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分

22	研究テーマ企画書の仕上げ	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
23	セルフテンプレートのススメ	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
24	地域でのリスクを考える②	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
25	自分の身近な場所を観察する	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
26	前期のゼミ活動の振り返り	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
27	夏休みの課題と将来の問題	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
28	夏期休暇とゼミ活動報告会	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
29	何はなくても無事がよい	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分
30	地域特性と調査活動①	配布されたスライド資料や課題を中心に取り組み、理解を深める。	120 分

⑫ アクティブラーニングについて			
課題の提出による学生参加型 AL を採用する。毎回テーマに即した問いかけをして、寄せられた結果について次回以降に解説と考察を行い、学修内容をフィードバックする。インプットとアウトプットのバランスを考え、課題内容をもとに各自で調べてまとめる作業を従来よりも増やす。オンライン授業でもアサーティブなやりとりを目指す。ケースメソッドの手法を取り入れ、事象の読み解きと問題解決に向けた能力の向上を図る。			

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性